

～平成29年1月議会臨時会冒頭挨拶～（H29.1.23）

厳冬を迎え、寒さが一段と厳しくなる中、平成29年第1回大町町議会臨時会を招集しましたところ、公私とも御多用の中、御参集いただき、御審議賜りますこと、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年来、町民の皆様、そして議員の皆様にご不安、ご心配をおかけしております町立病院の経営見直しの問題につきましては、これまでも私の所見を含め、老朽化した建物の喫緊の建替え問題や、病院の運営状況、町の財政状況等、重ねて説明を申し上げ、経営見直しの必要性を提起してきたところでございます。

そして、議員の皆様もご承知のとおり、昨年1月に新武雄病院から経営移譲の申し入れがあり、平成28年(昨年)1月22日の議員例会の折に、議員の皆様に対し、説明をした上で、内容を協議していただきましたところ、特に反対の声もなく、結果、条件交渉は町長である私に任せるという形で例会を終えました。これが意味するものは、条件次第では、経営移譲もあり得ると言う是認をいただいたと私は理解をしております。

そして、この1年の間、全身全霊を傾け、他の2医療機関のご提案も含め、交渉・協議を重ねてまいりました。議員の皆様にも4回の議会定例会を経ながら、十数回にわたり、交渉の内容や進捗状況をお伝えし、更に町立病院職員への説明会や2回の住民説明会、加えて、地区での出張対話室や町長対話室、各種団体懇談会等での説明を重ね、今日に至っているところでございます。勿論、存続を求める声も届いておりますし、移譲止むなし、民間に任せるべきだとの声もいただいております。

私たちは、賛否ある町民の皆様の思いを真摯に受け止め、この1年、365日来る日も来る日も、大町町にとって、何が一番いいのか、大町町の5年後、10年後、20年後を真剣に考え、熟慮に熟慮を重ねてまいりました。

そして、これまで議員例会等で協議検討してきたとおり、新武雄病院から提示された条件を持って、今回の提案を決意したところでございます。

議員の皆様には、様々な立場、そしてご自身のお考え、苦しい葛藤もお有りかと、察するところではございますが、町の行く末に大きな影響を与える重要な課題として、先送りすることなく、互いに政治の責任を果たさなければならないと考えております。

従いまして、議会制民主主義の中で、決して独断であってはならず、私の一存ではなく、大町町の将来、次世代の大町町を見据えた、賢明なご判断を議員

の皆様はゆだねたいと思っております。

(詳細につきましては、当HP町政欄議会会議録をご覧ください。)

今後も引き続き、町民の皆様とともに、

～町民の声が届く笑顔あふれる元気な町づくり～に取り組んでいきます。